

## 産業遺産情報センター開所式 祝辞

只今、御紹介いただきました「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会事務局長の富吉でございます。

甚だ僭越ではございますが、御指名でございますので、一言御挨拶をさせていただきます。

まず初めに、「明治日本の産業革命遺産」につきまして、本日御列席の内閣府・内閣官房、外務省をはじめとする国の関係省庁の皆様におかれましては、世界遺産登録への取組を平成17年に開始して以来、平成21年の世界遺産暫定一覧表への追加記載や、平成26年のユネスコへの推薦書提出、そして平成27年の世界遺産委員会における登録決定に至るまで、一方ならぬ御尽力を頂き、また、登録後は、資産の管理保全やインタープリテーションにつきましても御尽力を頂きますと共に、私ども協議会やその構成自治体に対しまして、御指導・御助言・御助力を賜っておりますことに、深く感謝申し上げます。

今後とも宜しく願い申し上げます。

さて、本日は「産業遺産情報センター」の開所を心からお祝い申し上げ、また、開所に向けて並々ならぬ御努力を頂いた内閣府をはじめとする関係者の皆様に深く敬意を表します。

また、本センターが、国内外から多くの人々が訪れる日本の首都東京におきまして、「明治日本の産業革命遺産」に関する総合的な情報発信をして頂けることに対し、協議会8県11市の構成自治体を代表致しまして厚く御礼申し上げます。

皆様既に御案内の通り、「明治日本の産業革命遺産」は

- ・ヨーロッパに端を発した産業革命が西洋から非西洋へ伝播し、初めて成功したことを示す遺産群であること

- ・19世紀半ばから20世紀初頭にかけて、「製鉄・製鋼、造船、石炭産業」を基盤に、わずか50年余りの短期間で急速な産業化を成し遂げたことが世界遺産に値する価値として評価され、登録されました。

今後は、この「産業遺産情報センター」が、その世界遺産価値を広く伝えて頂くと共に、「明治日本の産業革命遺産」を中心とした産業遺産に関する調査研究・人材育成・情報提供のための総合的な拠点として、大きな役割を果たしていかれることを期待を致しております。

最後になりますが、本日御臨席の皆様方の今後益々の御健勝と御発展をお祈り申し上げます、お祝いの挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。